

LSフォーム〈FRC製プレストレスト長尺埋設型枠〉

NNTD 1215 FRC

従来のガラス繊維による引張強度の補強効果に加え
補強材と緊張材による複合効果で、これまで以上の曲げ耐力を実現

意匠登録第1557313号
特許登録第6770817号

●特長

1.現場施工を合理化

ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。

2.作業効率の向上

•製品重量:69kg/枚で人力による施工が可能です。重機の入らない狭小な現場や、急峻現場でも効率的に作業ができます。

•耐荷重150kg/m²。製品の上で作業ができます。

※1枚に二人以上は乗らないでください。

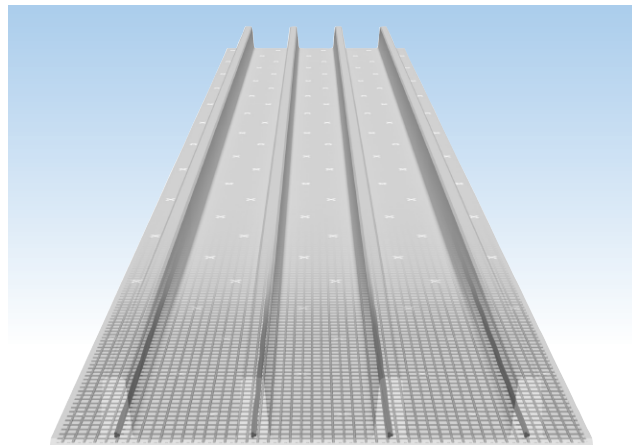
3.コンパネ不使用による森林資源保護

4.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易

■用途

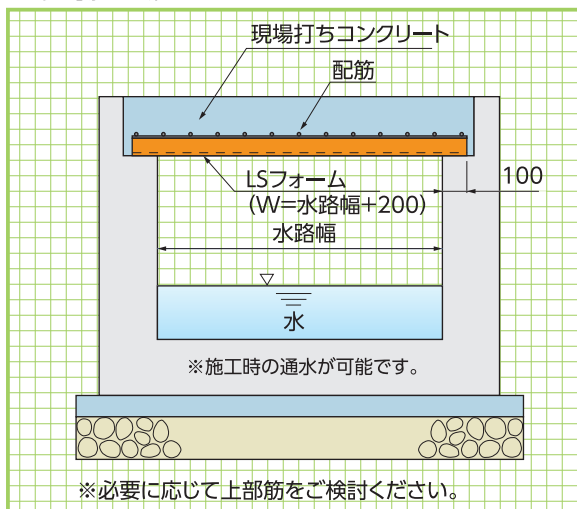
●長スパン用埋設型枠

溝幅1400以上の側溝暗渠型枠、建築、橋梁スラブ向け型枠等

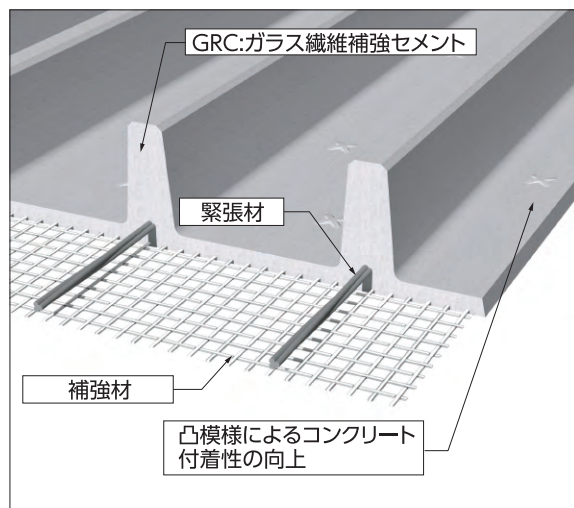


プレストレストの採用により従来のGRC製法と比較し
約2倍の曲げ強度を実現しました。

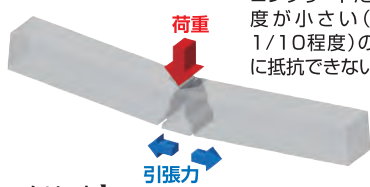
■参考施工断面図



■製品構造図

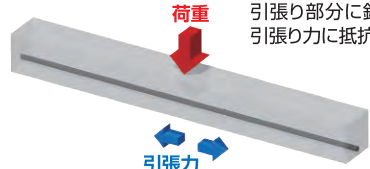


【無筋コンクリート】



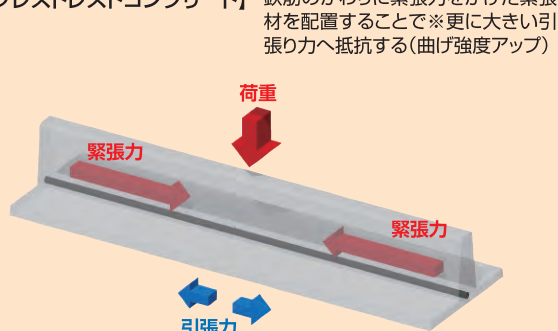
コンクリートだけは引張り強度が小さい(圧縮強度の1/10程度)ので、引張り力に抵抗できない。

【鉄筋コンクリート】



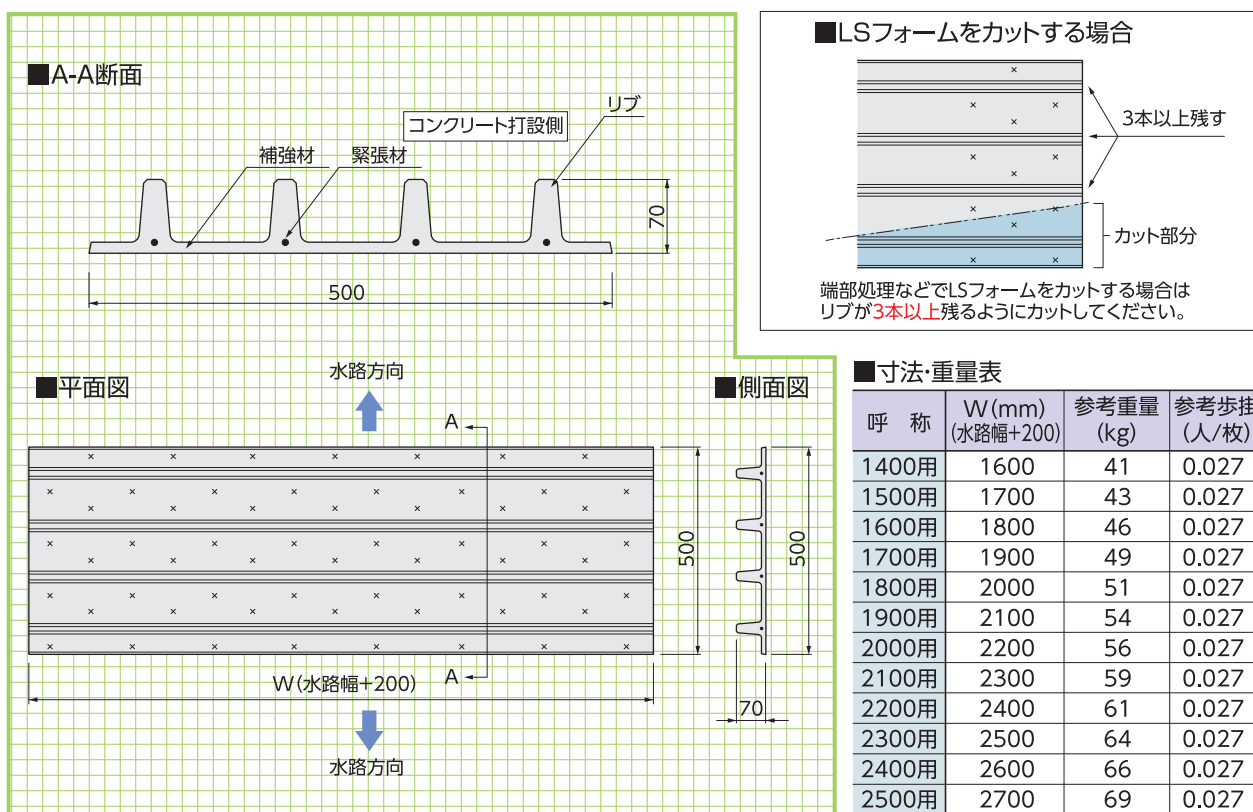
引張り部分に鉄筋を配置して引張り力に抵抗する。

【プレストレストコンクリート】



鉄筋のかわりに緊張力をかけた緊張材を配置することで※更に大きい引張り力へ抵抗する(曲げ強度アップ)

※プレテンション方式によるプレストレスト導入



※施工時はリブがついた面が上(打設面)となるように敷設してください。
 ※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはカンバー(緊張力による反り)がついていますが、コンクリートの打設後はフラットになります。

側溝・水路幅による製品の使い分け

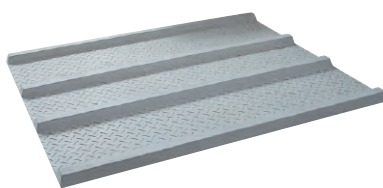
水路幅:250~600

KCフォーム



水路幅:600~1500

JSフォーム



水路幅:1400~2500

LSフォーム



▼施工例



※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはカンバー(緊張力による反り)がついています。

打設前



打設後



※必要に応じて上部筋をご確認ください。